

氏名	信 岡 寛
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第 1696 号
学位授与の日付	昭和61年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	大腿骨転子部骨折に対する外反位整復・強斜位固定法に関する実験的ならびに臨床的研究
論文審査委員	教授 寺本 滋 教授 折田薫三 教授 村上宅郎

学位論文内容の要旨

大腿骨転子部骨折に対し、外反位整復・強斜位固定を行なった場合の荷重耐性を実験的に調べた報告は無い。著者は成人屍体の大腿骨を用いて、一側は外反位整復・強斜位固定を、他側は解剖学的整復・弱斜位固定を行い、荷重ひずみ曲線を記録しその最大荷重値と $\tan \theta$ (θ は立ち上がり角度) を求めた。Jewett 釘, C・H・S で固定した場合、最大荷重, $\tan \theta$ とともに前者は後者の2倍の値を示し、K-wire 固定では最大荷重値は約5倍, $\tan \theta$ は4倍の値を示した。また、本骨折に対し外反位整復・強斜位固定を行ない予後が判明している184例について臨床的検討を加えた。手術後の頸体角の推移に関して計測した結果、内反変形の発生が他の方法に比較し著しく少なかった。下肢長差の測定では本法施行による患肢の延長は問題にならないことが判明した。

この手術法は実験および臨床的研究結果より、術後早期の荷重歩行に十分耐えうる結果を得た。

論文審査の結果の要旨

本研究は、大腿骨転子部骨折に対して外反位整復・強斜位固定を行った場合の荷重耐性を実験的に検討するとともに、184例について臨床的に検討して重要な知見を得たものである。価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。